UENO Toshihiko; uenot_gosudarstvo@yahoo.co.jp; http://www.geocities.jp/collegelife9354/index.html

6. ロシア史(4)：ソ連解体

6.1. ペレストロイカ（перестро́йка 建て直し）

6.1.1. ゴルバチョフの登場

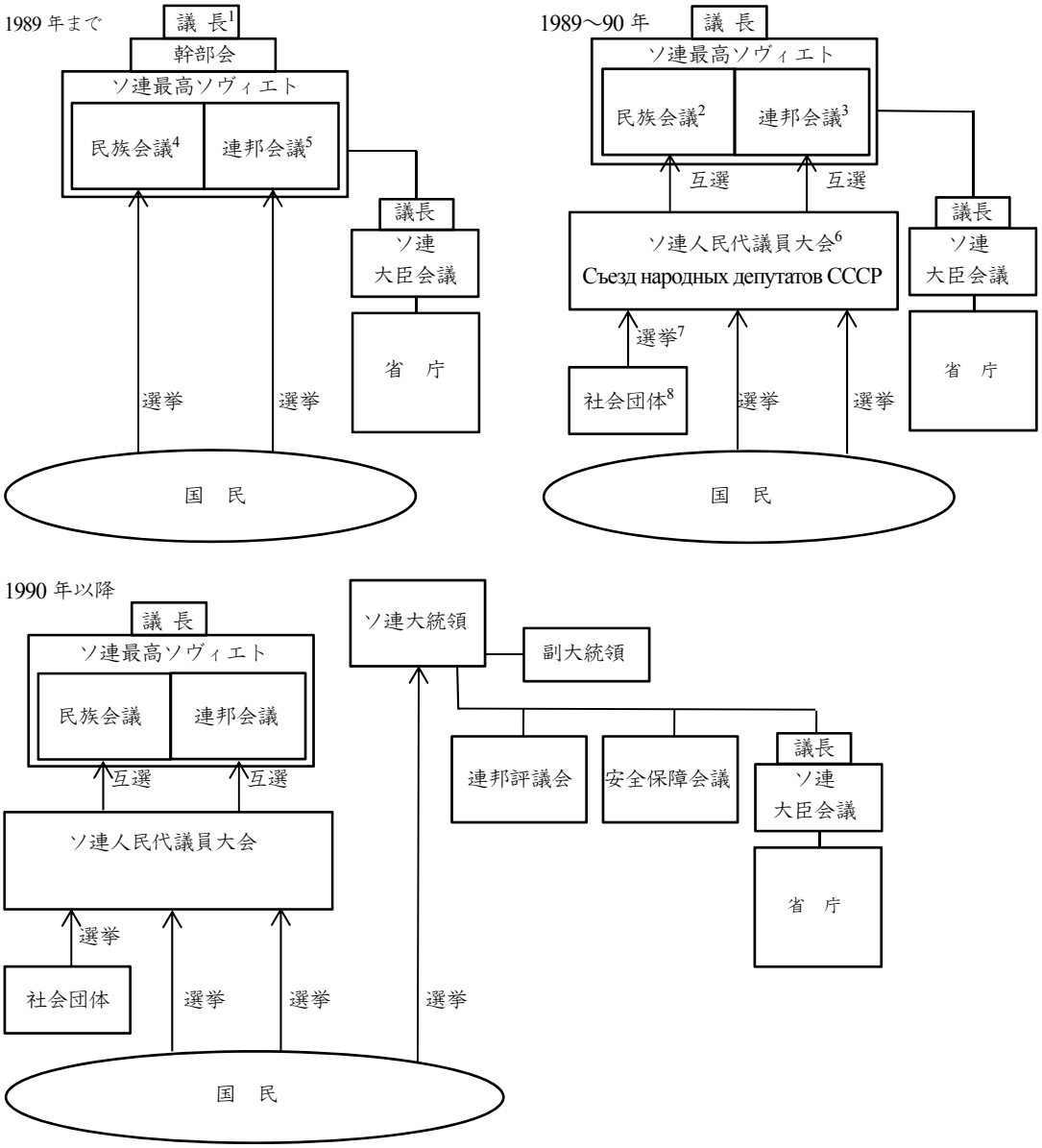
1982 年 11 月 10 日　ブレージネフ・ソ連共産党中央委員会書記長死去（75 歳）。
12 日　ソ連共産党中央委員会総会、アンドローポフ・ソ連国家保安委員会（KGB / КГБ）議長／ソ連共産党中央委員会政治局員（68 歳）を書記長に選出。
1984 年 2 月 9 日　アンドローポフ書記長死去（69 歳）。
13 日　ソ連共産党中央委員会総会、チェルニェーンコ・ソ連共産党中央委員会書記／ソ連共産党中央委員会政治局員（72 歳）を書記長に選出。
1985 年 3 月 10 日　チェルニェーンコ書記長死去（73 歳）。
11 日　ソ連共産党中央委員会総会、ゴルバチョフ・ソ連共産党中央委員会書記／ソ連共産党中央委員会政治局員（54 歳）を書記長に選出。

6.1.2. ゴルバチョフの改革政策（＝ペレストロイカ）

- 「グラスノスチ」（гла́сность 情報公開／言論の自由）
- 「経済の加速化」：部分的市場経済の導入
- ソ連共産党の改革：党書記の任期制導入／党書記選挙における競争選挙の導入
- ソヴィエト改革：ソヴィエト代議員選挙における競争選挙の導入
- 国家機構の改革：ソ連人民代議員大会の設置／大統領制の導入
- 新思考外交：軍縮／制限主権論の否定→ワルシャワ条約機構の解体
- ソ連の連邦制の改革：緩やかな連邦制（主権国家連邦）

1985 年 3 月 11 日　ゴルバチョフ書記長、ソ連共産党中央委員会総会で「グラスノスチ」を提唱。
4 月 23 日　ゴルバチョフ書記長、ソ連共産党中央委員会総会で「経済の加速化」を提起、その手段としての「経済メカニズムのペレストロイカ」を提唱。
1986 年 2 月 25 日　ソ連共産党第 27 回大会開幕。加速化路線承認。綱領新稿・新規約を採択（3 月 6 日まで）。
4 月 26 日　チェルノブイリ原子力発電所事故。
12 月 10 日　ゴルバチョフ書記長とレーガン大統領、中距離核戦力（INF）全廃条約に調印。
17 日　カザフスタンのアルマアタ（現アルマトイ）で暴動。
1987 年 10 月 1 日　エストニア人民戦線結成。
8 日　ラトヴィア人民戦線結成。
22 日　リトアニアでサユジス（人民戦線）結成。
1988 年 2 月 28 日　アゼルバイジャン共和国のスムガイトでアルメニア人の暴動。ナゴルノ・カラバフ紛争の勃発。
7 月 2 日　ソ連共産党中央委員会総会で、党書記選挙／ソヴィエト代議員選挙における競争選挙の導入を決定。
12 月 1 日　ソ連最高ソヴィエト、ソ連憲法を改正し、ソ連人民代議員大会を設置。
1989 年 2 月 15 日　アフガニスタン駐留ソ連軍の撤退完了。
3 月 26 日　ソ連人民代議員選挙。競争選挙を導入→ソ連解体へ。
5 月 25 日　ソ連人民代議員大会、ゴルバチョフをソ連最高ソヴィエト議長に選出。
12 月 20 日　リトアニア共産党大会、ソ連共産党からの分離独立を決定。
1990 年 1 月 20 日　ソ連軍、アゼルバイジャン共和国首都バクーへ進攻。ナヒチャヴァン自治共和国最高祖ヴィエト、ソ連からの離脱を決定。
3 月 11 日　リトアニア共和国最高ソヴィエト、独立宣言を採択。
14 日　ソ連人民代議員大会、ソ連憲法を改正し、大統領制を導入。
15 日　ソ連人民代議員大会、ゴルバチョフを初代ソ連大統領に選出。
30 日　エストニア共和国最高ソヴィエト、独立宣言を採択。
5 月 4 日　ラトヴィア共和国最高ソヴィエト、独立宣言を採択。

図 1　ソ連人民代議員大会の設置（1989 年）と大統領制の導入（1990 年）



[1] ソ連の国家元首は、1989 年までは、ソ連最高ソヴィエト幹部会議長であったが、1989 年にソ連最高ソヴィエト幹部会議長が廃され、その代わりに設置されたソ連最高ソヴィエト議長が国家元首となった。さらに 1990 年の大統領制の導入により、ソ連の国家元首はソ連大統領となった。

[2] 代議員数 271 名。民族・地域選挙区（小選挙区［単独議席選挙区］）から選出されたソ連人民代議員の中から互選で選出。

[3] 代議員数 271 名。地域選挙区（小選挙区）から選出されたソ連人民代議員の中から互選で選出。

[4] 代議員数 750 名。民族選挙区（小選挙区）から選出。選挙区は 15 の連邦構成共和国を各 32 選挙区、20 の自治共和国を各 11 選挙区、8 自治州を各 5 選挙区、10 自治管区を各 1 選挙区に分けていた（15×32＋20×11＋8×5＋10×1＝750）。

[5] 代議員数 750 名。地域選挙区（小選挙区）から選出。選挙区は人口が等しくなるようソ連全国を 750 の選挙区に分けていた。

[6] 人民代議員は 2250 名。内訳は、社会団体から選出される人民代議員 750 名、民族・地域選挙区から選出される人民代議員 750 名、地域選挙区から選出される人民代議員 750 名であった。民族・地域選挙区および地域選挙区の区割りは 1989 年までのソ連最高ソヴィエトの民族選挙区および地域選挙区と同じ。

[7] 各社会団体から選出される人民代議員の数はあらかじめ社会団体ごとに割り当てられていた。

[8] ソ連共産党、共産主義青年同盟、ソ連労働組合中央評議会、作家同盟、科学アカデミーなど。

6.2. ソ連解体

1990 年 5 月 29 日	ロシア共和国最高ソヴィエト、エリツィン・ソ連人民代議員をロシア共和国最高ソヴィエト議長に選出。
6 月 12 日	ロシア共和国人民代議員大会、共和国の憲法・法律がソ連の憲法・法律より優先されるとする国家主権宣言を採択。
7 月 2 日	ソ連共産党第 28 回大会開幕（13 日まで）。「人道的・民主的社会主義へ向けて」の綱領的宣言・新党規約を採択。ソ連共産党の中央集権制を廃し、連邦制化を果たす。
10 日	エリツィン、ソ連共産党を離党。
11 月 14 日	グルジア共和国最高ソヴィエト、独立を宣言。
1991 年 1 月 13 日	リトアニア共和国首都ビリニュスでソ連軍と市民が衝突。
20 日	ラトヴィア共和国首都リガで、ソ連内務省特殊部隊、共和国内務省を襲撃。
2 月 18 日	グルジア共和国首都トビリシで、ソ連軍、武装民族組織を襲撃。
6 月 12 日	エリツィン、ロシア共和国民の直接選挙によりロシア共和国大統領に選出。
8 月 19 日	国家非常事態委員会（ヤナーエフ・ソ連副大統領、パーヴロフ・ソ連首相、プーゴ内相、ヤーゾフ国防相、クリュチコーフ国家保安委員会議長ら）によるクーデター（21 日まで）により、ゴルバチョフ・ソ連大統領、クリミアの保養先で拘束。
9 月 6 日	リトアニア、ラトヴィア、エストニアの独立。
12 月 8 日	ロシア、ウクライナ、ベラルーシ首脳、独立国家共同体（CIS）創設を宣言。
25 日	ゴルバチョフ・ソ連大統領辞任。ソ連解体。